

活用するスマート農業技術

**栽培管理システム**

新たな生産の方式

**データを産地内で共有し、次期栽培に活用**



栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

## <申請者>

株式会社 まきの農園（山形県西村山郡河北町）

経営概況（2026年4月時点）

経営規模：水稲21ha、大豆10ha、野菜1.5ha、  
おとう0.5ha

従業員数：5名

## <対象品目>

水稲、大豆

## <計画の実施期間>

5年間

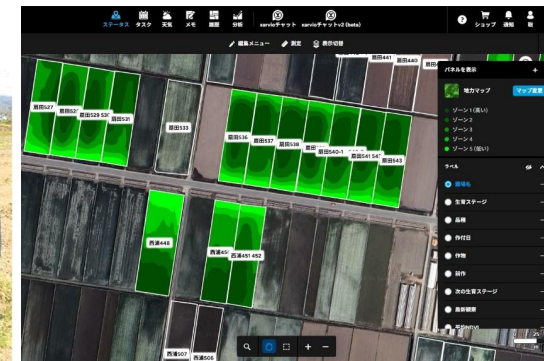
## <活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

## <生産方式革新事業活動のイメージ 等>



まきの農園の皆様



栽培管理システム  
(ザルビオフィールドマネージャー)

### ～認定を受けて一言～

弊社地域では高齢化に伴い農地の集積が進み、担い手の役割が一層重要となっています。

異常気象への対応も含め、より高度な栽培管理が求められる中、スマート農業技術を活用し、地域と情報共有しながら品質の維持と生産性の向上に取り組んでまいります。